

モデル校における実践発表

伊那市立長谷中学校

1 本年度の具体的な取組み

(1) 目的・目標

野菜栽培の学習活動を通して、栽培の難しさや収穫の喜びを実感するとともに、豊かな自然環境の中で循環型農業を大切にしている地域の農家の方と交流して、地域に関わる自分の位置を確認する。

(2) 基本的な考え方

生徒の活動を中心に地産地消をめざし、野菜などを栽培し、生産の大変さや収穫の喜びを味わいながら、学校給食に利用できるように体験的な学習をする。

(3) 具体的な展開

- ・ 総合的な学習の時間に、一講座として「食文化」を設け、野菜の栽培を行う。
- ・ 農家の方より休耕田をお借りして利用させていただく。
- ・ 一人一人、およびグループで給食に活用できそうな野菜を栽培する。
- ・ 野菜を収穫し、家庭へ持ち帰り家族と収穫までの苦労や喜びを共有する。また、手作り弁当や給食の食材として利用する。
- ・ 文化祭で栽培の記録を発表したり、お世話になった農家の方と食事会を行ったりする。

(4) 地域等との連携

- ・ 中学校の近くの畑をお借りする。
- ・ 酪農家より牛糞を購入して畑の肥料とする。
- ・ 野菜栽培における知恵と生育技能を支援していただく。

2 実践報告

☆休耕田(約180平方メートル<約60坪>)
をお借りして畑作り開始!



まずは草取りから!

☆牛糞を使っての土壌改良



結構、重労働！でも、慣れてくると撒き方も上手になってきました。

☆よもぎを使った調理に挑戦



畑からよもぎ採り



よもぎの下処理中！



よもぎたっぷりおこのみやき風？



よもぎ団子完成！

☆命名「南アルプス畑」



☆畝たて・マルチ敷き・苗植え

自分の場所は
責任をもって！



それぞれの
思いを込めて...



☆草刈り

草の生長のほうが速い！



☆うれしい初収穫！



初収穫キュウリ2本！
栄養士の先生へ！！

☆支柱立て・誘引作業



トマトには支柱立て、
キュウリには誘引作業。
スイカ・カボチャ・メロンには
わら敷き！

☆農家の皆様に 教えていただきました！



除草も手伝っていただきました。



☆栽培した野菜

○個別に栽培した野菜

ミニトマト	トマト	カボチャ	スイカ	ジャガイモ
-------	-----	------	-----	-------

○グループで栽培した野菜

さつまいも	メロン	とうもろこし	モロヘイヤ	枝豆
オクラ	にんじん			

☆一人一人の収穫



☆成功ばかりとはいきませんでした！

ここまで育てたのにい～！

小動物が犯人？

腐ってしまった



メロン



スイカ

☆給食に大いに貢献！！



キュウリ大収穫！！



☆給食メニュー（その1）



キュウリはサラダなど
いろいろに！

※6月27日,7月3日,8日,11日
15日,17日,25日など

ミニトマトやトマトは夏野菜カ
レーにも使われました。
※8月21日

☆給食メニュー（その2）



とうもろこしは
ゆでて！

※8月22日



モロヘイヤのそうめん汁

※8月20日

☆給食メニュー（その3）



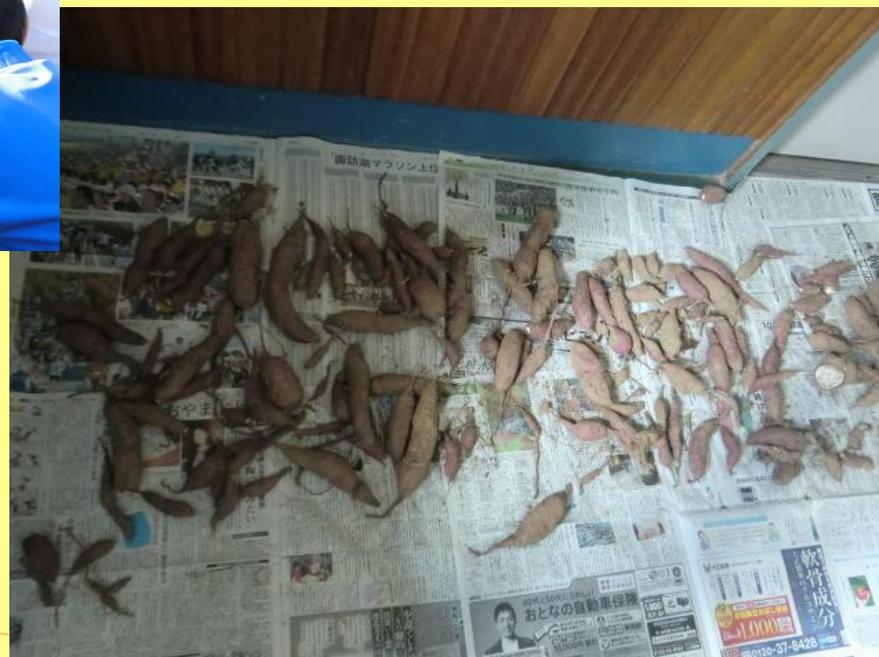
大収穫のにんじんはサラダに！
※9月6日など



☆今年最後の収穫へ



さつまいも掘りは全校で！



☆これからの畑は……



全校で草取り！！



全校でだいこんの種まき

発芽しました！

3 成果と課題

(1)成果

☆生徒の感想から(その1)

- ・水をやりすぎるとトマトが割れ，支柱にとめないと茎が折れ，よく見ていないと野菜がだめになってしまうことが分かりました。
- ・カボチャの一つは，敷きわらがなくて腐ってしまいました。もう一つはみそ汁に入れました。育てるのは難しいと思いました。
- ・僕はもう少しで収穫という時に，鳥か何かの動物に荒らされてしまいました。収穫できなくて残念でしたが，これも自然の中で栽培していくことの難しさだと知りました。

☆生徒の感想から(その2)

- ・ 形がおかしいキュウリもできたけれど、きれいなキュウリも大量に収穫できたのでよかったです。
- ・ 農家の方は、雨が降らない限り水を野菜にあげることは大変なことだと感じました。水をあげるのをさぼってしまったことがあったり、苗が倒れていたのにほうっておいたりして、かなりの反省点がありました。でも、家族に食べてもらい喜んでもらえたので良かったです。

☆生徒の感想から(その3)

- ・ 自分で育てると愛着がわいてきて、まだ緑だったトマトを採ってしまったときは「ごめんね」って話しかけていました。台風が来たときは、茎が折れてしまったけれど、がんばって生きていてくれていて感動しました。
- ・ 休みの日や夏休みの水やりに学校に来るとき、家族の人に送ってもらえて感謝しています。収穫した野菜で少しお礼ができたように思います。

☆生徒の感想から(その4)

- ・ 地域の方には畑の周りの草を刈っていただいたり、水の心配をしていただいたりしたことに感謝しています。自分一人では野菜作りは成功しなかったと実感しました。
- ・ 羽場さんに、畑を貸していただけたことで、普段では経験できないことができました。野菜作りは簡単にできると思っていましたが、本当に大変でした。でも、中山さんにわき芽の欠き方などを教えていただいたので、満足のいく野菜が収穫できました。とても充実した活動になりました。

(1)残された課題と解決方法

①農耕具の不足

...前年度中に必要な農耕具を洗い出し予算化していく。



②農地の確保

...できるだけ学校に近い休耕田を探し、お借りできるようにする。

③農地の水源の確保

...常に水が流れている川が近くにあるとさらに良い。

④農作業の見通しをもった時間の確保

...一度に長時間の作業時間を確保しても、天候に左右される面が多いので、日々の日程の中で融通がきく時間を生み出す。

⑤生徒のねがいや意欲を喚起する教師の見通し

...経験の少ない生徒が失敗することを見通して教師が別の野菜を育て、サポートするなど。

⑥病害虫に対する指導

...無農薬栽培なので虫がつく場合がある。「食べさせない」とするか「無農薬野菜だから安心」として指導するか。教師側の立場をはっきりさせておく。

⑦地域の方との関わり

...常に関わっていただくことが難しいが、作物の生長を見計らって、地域の方の指導を受けることはできる。